

今月のごあんない

ゴールデンウィーク

ブナセンターの G. W. プログラム

フナ里自然塾・春

5月3日(木)・5日(土) たき火入門
5月4日(金)・6日(日) カトラリー作り
枝を削って簡単なフォーク
やナイフを作ります



【時間】10:00~12:00
【集合】ブナセンター(9:50)
【定員】各回10人
【対象】5才~大人まで

※小学4年生以下の方は親子でご参加ください

【参加費】500円
【申込み】前日17:00までにブナセンターへ
【持ち物】野外で活動できる服装、長靴、軍手、飲物
※詳しくはブナセンターまでお問い合わせください

フナ材の手回しオルガン・ミニ演奏会

★期間：4月29~30日、5月2~6日(GW中の開館日は毎日)
★時間：午後3:30~3:45 ★自分で演奏することもできます

わくわく土曜日ランド 「山菜ピザづくり」

【日程】5月12日(土)
【時間】10:00~15:00
【集合】ブナセンター(9:55)
または町民センター(9:45)
【定員】10名(町内小学生対象)
【参加費】300円 【持ち物】昼食
【申込み】前日17:00までにブナセンターへ
※詳しくは各小学校で配布のチラシにて



歌オブナ林・花ごよみ

月1回の花の調査です(5月のみ2回)

【日程】5月13日(日) & 23日(水)
【時間】9:30~14:30
【集合】歌オブナ林駐車公園
【参加費】300円(初回のみ)
【持ち物】昼食、長靴 【申込み】不要 ◎雨天中止

午前中だけの
参加もOKです

歌オブナ林天然記念物指定90周年記念事業 キックオフイベント 『ブナの森からの贈り物』

日程：5月26日(土)・27日(日)

1日目 26日(土)

- ◇小川 巖氏(エコネットワーク代表)
ブナをいかした「町づくり」の出発点から現在まで
- ◇日浦 勉氏(北大・苫小牧研究林長)
ブナの森からの贈り物と、将来に向けての
保全と活用について
- ◇ブナの恵み交流会
全国の「ブナの森からの贈り物(恵み)」を取り
寄せて試食するコーナーも設けます



歌オブナ林を
ドローンで
撮影した映像も
上映します

2日目 27日(日)

- ◇歌オブナ林で未来を語ろう
小川・日浦両氏の案内でブナ林を歩きます
- ◇昼食会

主催：歌オブナ林天然記念物指定90周年
記念事業実行委員会
協力：後志森林管理署

※時間、場所など、詳しくはチラシにて

陶芸教室 毎週木曜日

昼の部 13:30~15:30
夜の部 18:30~20:30

参加費：無料 ※材料費(粘土代 500円/1kg)がかかります
※初めて参加される方は、ブナセンター職員が指導します
ので、前日までにご連絡ください。

特別講師：下澤暘子先生
(札幌市 北海ありそ焼・愉楽窯)

◎下澤先生が来られる日(5月~6月の予定)
5月10日 6月7日、21日(昼の部のみ)

工房からのお知らせ



木工教室 毎週木曜日

18:30~20:30

講師：西馬昇一郎先生
(ニセコ町 工房WEST HORSE)

参加費：無料 ※材料は各自で用意
◎西馬先生が来られる日(5月~6月の予定)

5月10日、24日 6月14日、28日

※教室以外にもブナセンターの開館中は、いつでも
どなたでも自由に工房を利用できます。

【工房利用料金】(2時間以内の場合)
大人210円・小学生100円 +材料費
※町内65歳以上の方は工房利用料は無料です

報告

～平成29年度生物多様性保全奨励事業～

平成29年度の生物多様性保全奨励事業「ブナセンター賞(黒松内の生物多様性に関する研究を助成)」を受賞したのは中央大学理工学部の境 優(さかい まさる)さんでした。今月号では、2月24日におこなわれた成果発表会の内容をご紹介します。

ヤマベや虫たちをめぐる朱太川の湧水の秘密

湧水は、朱太川とその支流の生物相(その環境内にどんな生物がいるのか)にどのような影響を与えるのでしょうか? 3年を予定している調査期間のうち1年目の成果を解説していただきました。



境 優さん

ゆうすいかせん

湧水河川ってなに?

朱太川に流れ込む支流の1つ、上山川(黒松内町貝殻地区)は地下水が湧き出て流れをつくる「湧水河川」です。一方、降水と地下水が混ざりあって流れをつくる川を「非湧水河川」といいます。



湧き水からできる川のイメージ

湧水河川：上山川(朱太川支流)

- ・夏は冷たく冬は暖かい
- ・年間をとおしての温度変化が小さい
- ・降水量に川の流量が左右されにくく、安定している

非湧水河川：朱太川や歌才川(朱太川支流)



周りから水が流れ込みできる川のイメージ

湧水河川には虫が多い?

黒松内の川にどんな水生昆虫がいるのかを調査したところ、上山川にはユスリカ科の幼虫が本流の朱太川や支流の歌才川(非湧水河川)より多く生息していることが分かりました。

その理由として、上山川の川底がユスリカが生育しやすい砂泥質状になっていることがあげられます。

なぜ、上山川の川底がそのようになっているのかについて、境さんは以下の2つの要因を考えています。

- ・水が湧いているところからたくさんの細かい土砂が産出する
- ・湧水河川では洪水が起こりにくい

今後の研究について

ヤマベが季節に応じてどのように湧水河川を利用しているのか、また、黒松内低地帯の湧水に生息する特異な生物がいるかどうかについて、さらなる調査研究をすすめていくそうです。来年の発表もお楽しみに。

ヤマベは湧水河川をどう利用するのか?

それでは、朱太川に生息する魚の一種・ヤマベ(正式名称は“ヤマメ”ですが、ここでは北海道でなじみ深い“ヤマメ”とします)は、湧水河川をどのように利用しているのでしょうか?

上山川の子ヤマベは朱太川や歌才川の子ヤマベより胃内容物が多く、特に湧水河川にしか生息しない水生昆虫を多く食べていました。

一方で体長は、小さい傾向にありました。この結果について、境さんは夏場の低い水温が原因の1つなのではないかと考察しています。



ヤマメ(ヤマベ) サケ科

朱太川とその支流におけるヤマベの生息推定数を調べてみると、興味深いことが分かりました。

冬になると、支流、特に湧水河川である上山川の子ヤマベの数が激増したのです。上山川は年間を通じての温度変化が少なく、冬は本流である朱太川より水温が高くなります。そのため夏のあいだ朱太川等にいたヤマベが、冬には水温の高い上山川に移動している可能性が示唆されました。

★ブナセンターのFacebookページができました!

<https://facebook.com/bunacent.kuromatsunai/>
QRコード
こちら

旬のブナ林の情報やブナセンターのイベントを紹介しています

【5月の休館日】

1日 / 7・8日 / 14・15日 / 21・22日
/ 28・29日

(ブナセンターは通常毎週月曜日と火曜日が休館日です)

●「ブナセンターだより」はブナセンターHPからPDFファイルをダウンロードできます。

●「ブナセンターだより」郵送ご希望のかたは、郵便番号、住所、氏名、電話番号を明記のうえ、希望回数分の82円切手を同封してブナセンターまでお送りください。

発行所：黒松内町ブナセンター

〒048-0101 寿都郡黒松内町字黒松内 512-1 TEL (0136)72-4411 FAX (0136)72-4440
電子メール bunacent@host.or.jp ホームページ <http://www.host.or.jp/user/bunacent/>